

催し物のご案内

2024年度 子ども自然科学作品展

開催期間／12月21日(土)～2025年1月13日(月・祝)
休館日／12月23日(月)・24日(火)・28日(土)～2025年1月4日(土)・6日(月)
開催場所／当館1階 特別展示室
観覧料金／無料(常設展は別料金)

夏休みの自由研究や日頃に行っている調査研究の成果など、自然科学に関する小・中学生の研究作品を展示します。毎年、数多くの力作が寄せられ、作品の一つひとつに当館の学芸員のコメントが付けられます。他の児童・生徒の皆さんの研究の参考にもなります。



ミュージズ・フェスタ2025

2025年3月15日(土)・16日(日)

ミュージズ・フェスタは博物館の開館記念日を祝うお祭りです。地域の方々をはじめ、来館者のみなさまへの日頃の感謝とともに、子どもも大人も博物館に親しんでいただける企画を準備しております。この2日間は常設展示と企画展が無料でご覧いただけます。どうぞみなさまお気軽にお越しください。

【事前申し込みの講座】

- ほねほねパズルで学ぶ 動物の骨のかたちとくらし[博物館]
日時／2025年2月11日(火・祝) 10:00～12:00
対象／小学生～中学生 20人 ※小学生は保護者参加必須
申込締切:2025年1月28日(火)
- 親子でノジュール割りに挑戦
～ボリビア産の古生代の生物を調べよう～[博物館]
日時／2025年2月23日(日) 11:00～15:30
対象／小学4年～6年生とその保護者 5組(1組2～4人のグループ)
※保護者参加必須
申込締切:2025年2月11日(火)
- 早春の地形地質観察会[真鶴町]
日時／2025年3月1日(土) 10:00～15:00
対象／小学4年生～成人 25人 ※小学生は保護者参加必須
申込締切:2025年2月18日(火)

ライブラリー通信 保育社の図鑑がすごい!

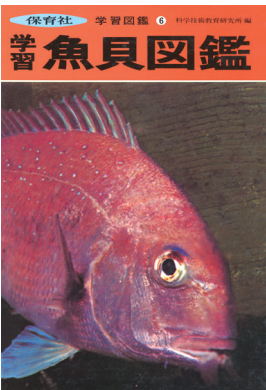
もちつき せんな
望月 千奈(司書)

「図鑑」という言葉を聞くと何を思い浮かべますでしょうか。当館ライブラリーにも多くの図鑑が並んでおり、中には『クモの巣図鑑』や『虫のぬけがら図鑑』といった変わった図鑑もあります。

私がまず、「図鑑」で頭に浮かべるのは、保育社の「原色図鑑シリーズ」です。保育社は1946年に大阪市南区にて創業され、主に小・中学校の参考書や学習図鑑などを発行していました。カラー写真をふんだんに使った文庫本のシリーズである「カラーブックス」が、1962年にスタートすると、幅広い読者層の人気を得ました。2010年に『おりがみ』の復刻版が発売されるほど、この「カラーブックス」はいまだに根強い人気があります。

『図鑑大好き!』(千葉県立中央博物館監修 2014年)によると、現在のデザインが確立された日本最古の学習図鑑は、なんと保育社の学習理科図鑑のシリーズになるそうです。また、「学習図鑑」と呼ばれる子ども向けの図鑑は日本で発達したもので、海外には見当たらないとも述べられていました。普段何気なく目にしていた学習図鑑が、日本独自のものだなんて、何だか誇らしい気持ちです。

保育社から発展していった学習図鑑も、現在では小学館、講談社、学研などのさまざまな出版社から刊行されています。内容も大きく進化していて、DVDが付属していたり、スマートフォンアプリで3D映像を見ることができたりと、紙面を超えた楽しみ方が増えています。あえて古い図鑑を手にとって、現代のものと見比べてみるのも面白そうですね。



『学習魚貝図鑑』
實野 恒久／編著
保育社 1969年

【催し物への参加申込について】

ウェブサイトからお申し込み、または講座名・開催日・代表者の住所・電話番号・申込者全員の氏名・年齢(学年)を明記の上、往復はがきにて当館住所までご郵送ください。応募者多数の場合は抽選となります。抽選で落選した方に対し、キャンセル待ちの対応を行います。ご希望の方は、お申し込み時に、その旨をご記入ください。参加費は無料ですが、講座により傷害保険(1日50円/1人)への加入をお願いすることがあります。

最新の情報は、当館ウェブサイト、および公式X(旧Twitter)でご確認ください。

【公式ウェブサイト】
<https://nh.kanagawa-museum.jp/>
【公式 X】@seimeinohoshiPR
【混雑情報 X】@seimeinohoshiCI

自然科学のとりま
第30巻4号(通巻117号)
2024年12月15日発行
発行者 神奈川県立生命の星・地球博物館
館長 田中 徳久
〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499
TEL: 0465-21-1515 FAX: 0465-23-8846
編集 本杉 弥生(企画普及課)
印刷 株式会社あしがら印刷

© 2024 by the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History.